

研究資料

デジタル・アーカイブの新しい研究の展開

後藤忠彦 編著

2012.4

目次

はじめに

1. デジタル・アーカイブの新しい研究の展開	1
1) 初期デジタル・アーカイブの変遷	1
2) デジタル・アーカイブの新しい展開	2
3) 収集・保管・利用の新しい構成	3
4) Item Pool、Item Bank の機能	4
5) 提示と方法	5
6) デジタル・アーカイブの評価・改善 ～計画・実施・評価・改善（PDCA）サイクルの利用～	6
7) 新用語についての研究課題	7
2. メディア環境と収集・構成の検討	11
1) メディア環境	11
2) 資料のデジタル記録（撮影）	13
3. Item Pool、Item Bank の導入 (Item Pool、Item Bank、Item Library)	19
1) デジタル・アーカイブの短期保管（利用）と長期保管	19
2) Item Pool、Item Bank（概念）の導入	20
3) デジタル・アーカイブでの Item Pool、Item Bank の利用	20
4. 資料の収集と選定評価	23
1) 資料の収集での条件 大規模災害時における教育情報の記録・保管・公開に関するガイドライン Ver.1（案）	23
2) 選定（収集・保管の適否評価）の整備	24
5. デジタル・アーカイブの提示	27
1) Hybrid Media とデジタル・アーカイブ	27
2) Hybrid Media	28
3) デジタル・アーカイブの提示と利用の課題	30
4) 法的な課題	30
6. デジタル・アーカイブの評価	31
1) デジタル・アーカイブと PDCA（評価） ～計画・実践・評価・改善サイクル～	31
2) デジタル・アーカイブの評価システム	31